

インターンシップ体験記 (海外インターンシップの場合は英語で記入)

準備期間中に学んだこと、遭遇した課題

本実習の準備期間においては、実習先と綿密に打ち合わせを行い、目標達成に向けてどのようなスケジュールで開発を行うのか、何を持って達成したとみなすのか（数値目標）等、普段の研究以上に具体性のある開発計画を提示することが求められました。受け入れ先の企業としては当然ながら、実習に割くリソースに見合った成果が明確であることが重要なので、私自身もなるべく抽象的な目標や言い回しは避けて、具体的に何を行うのか、どれくらいかかるのか、また何が必要かを先方に提示することを心がけました。しかし、実際に実習が始まったあと、自身の準備不足のために予定通りの計画で進まないことやリソースが足りないことなど、様々な問題が生じ、都度柔軟に対処することに苦労しました。この経験から、ある程度の失敗も見越したうえで余裕のある計画を立てること、想定外の問題が生じたときに狼狽えず、周囲の人間から助言をもらいながらうまく立ち回ることの重要性を理解しました。

インターンシップの目的や得た知識

今回の実習の目的は、開発中のロボットの動作の自動化を行うための制御アルゴリズムの実装と性能評価を行うことでした。この目標を達成するために、使用するロボットと類似する先行研究の調査を行い、開発中のロボットに対しどのような方法を用いるのが適当か、またどのような情報があればより精度の高い動作を実現できるのか等、早いサイクルで問題解決に向けて知識を応用する経験を得られました。また、実際の開発を通じシミュレーションソフトの使い方や、それをベースとした制御手法の実験・解析など、これまでに研究で使わなかった全く新しい方法で手法の実装・評価を行う機会を得ました。ここで得た知識は、今後自身の研究が行き詰ったときの解決方法や、技術者として社会に出たときの武器として、様々な局面で活用できることと考えています。

同僚・上司とのコミュニケーションについて学んだ点と気づいた点

実習期間開始後、企業内で研究を始めてからは、同じ開発チームのメンバーやその他の社員を問わず、全員が常に自分のアイデアを簡潔にまとめ、いつでも上司や他の人と共有できるように資料等の準備をしている点が印象的でした。学生とは異なり、会社内での仕事は時間の制約もある以上、締め切りを意識しながら報告資料を作り、そこから逆算して自分の研究開発に割く時間を決めているため、具体性のある目標や考え方を実現できているのではないかと考えました。この点は私自身に最も足りない部分だと感じたので、見習って改善しようと思うきっかけになりました。また資料のまとめ方も印象的で、常に他者とスムーズに共有できるように、例えば論文のサーベイ内容を要約して共有するためのデータベースを作成しておくなど、作業の効率化のための工夫がなされていることと感じました。

成長したポイントや達成できなかった課題、それらを今後どう生かすか

今回の実習を通じ、上記に述べた内容の他に、多人数に向けて自身の意見を要約して発信することを特に意識して学び、チームでの研究開発における円滑な意思疎通や役割分担を行えるようになったと思います。一方で、当初立てていた目標（ロボットの動作の完全自動化など）の実現には一歩及ばず、開発途中のまま内容の引継ぎを行うこととなってしまいました。この教訓を経て、自身の能力や時間に見合った妥当性のある目標を立てること、時間を有効活用するためにどのような方法をとるべきか考えることの2点を特に意識し、今後は短時間で確実に多くの結果を残せるように工夫しようと思います。

ヒューマンウェアインターンシップ報告書

4 / 4

インターンシップ体験記 (続き)

研究室とは異なる分野、業界で働いたことで得た体験

普段学生として研究室で打ち込む内容とは異なり、企業内部では厳しく時間が管理されており、確実な成果が求められる環境であると感じました。特に今回お世話になった部署では、研究開発の新規性だけでなく製品化に向けた実用性の評価も含めて、様々な分野・立場の人にこれまでの成果を発信する能力が求められていたと思います。このような環境において、自分自身の得意分野・苦手な分野は何なのか、また他の人はどんな分野を得意としていてどのような時に力を借りるべきなのか、絶えず意識して考え続けることが、より良い結果を得るために重要であると感じました。

週末の活動を含め、現地での日々の生活について

今回の実習は自宅に近い地域（国内）で行われたので、特にこれまでと環境が大きく変わることはありませんでした。そのため、平日の終業後や週末の時間は、自身の専門研究を行うための時間に充てることができました。また、始業時間・終業時間が明確に決められており、残業や遅刻などは厳禁なので、日々の習慣を見直し、常に規則正しく生活することを心がけました。

インターンシップの体験から学んだ重要なこと、成長できたこと

今回の実習期間中は、週一回進捗報告を行うなどプレゼン発表をする機会に多く恵まれたため、異なる専門分野の人々に自身の研究内容を分かりやすく伝え、効果的なフィードバックを引き出す能力が特に鍛えられたと感じます。また、期待される成果を確実に得るために先を見据えた予測を立てておくことと、一日の時間管理を確実にしておくことが、今後技術者を目指すうえで(今自身に最も不足している)重要なポイントであることを痛感しました。今回、実習で携わった方々の考え方や仕事の取り組み方を自身の環境にフィードバックし、周囲と協調して面白い結果を残せる、リーダーシップのある人物に成長したいと思います。